

# 知行合一

夏の蝶 日かげ日なたと 飛びにけり  
高浜虚子

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校  
学校だより 第8号  
令和元年7月5日  
文責 校長 畑口益喜

## 人権宣言と行動項目が決まりました

1日(月)、生徒会主催の人権集会が開かれ、執行部と各学級から、いじめをなくし田浦中学生全員が安心して笑顔で過ごせる田浦中にするための「人権宣言」と「行動項目」が発表されました。

生徒会人権宣言は「田浦中PRIDE～みんなが笑顔でつながり、安心できる学校にするために～」

行動項目は「壹 いじめを許さない、見過ごさない、加担しない田浦中生」「弐 感謝を忘れず、伝えあう田浦中生」「参 仲間と頑張りを分かち合える田浦中生」「四 頑張っている人を心から応援できる田浦中生」

1年1組人権宣言は「相手に興味を持つ」

行動項目は「き・よ・う・み」から、「きく耳をもつ」、「よく相手を見る」、「うみのような広い心を持つ」、「みんなで笑っていられるクラス」

2年1組人権宣言は「平等心を忘れずにつかめ絆と笑顔」

行動項目は学級通信のタイトル「あ・い・の・て」から、「あいてを気遣う」、「いつも絆と笑顔であふれる」、「のびのび自由に発言」、「てをみんなに差しのべる」

3年1組人権宣言は「member of 3の1 一人一人がなかまのために」

行動項目は「他人任せにせず、お互いに支え合える関係を作る」、「個性を大切に認めあえる関係を作る」、「互いが互いを思いやり、尊重できる関係を作る」

おかしいと思うことがあったら、必ず原点(人権宣言・行動項目)に返ることが大切です。



## 上級学校説明会

6月27日(木)・28日(金)の2日間、上級学校説明会を行いました。1日目は秀岳館高校、八代白百合学園高校、八代清流高校、八代工業高校、出水中央高校の5校、2日目は熊本高等専門学校、芦北高校、八代高校、八代東高校、水俣高校、自衛隊工科学校の6校が来校されました。学校紹介に来てくれた卒業生もいて、高校の様子がよくわかりました。

会の冒頭の挨拶では、こんな話をしました。

県大会を終えれば、「3年1組」という部活動が始まります。中学校卒業時点でのそれぞれの進路希望を叶えるというゴールに向けて、学級を仲が良い集団から一歩前進。目的集団に変容させ、「団体戦」のつもりで入試に臨むこと。

高校の入学式で緊張感を感じるのが、校長先生が「入学を許可する。」と発せられる瞬間。小学校から中学校への進学と違い、要求される一定の条件をクリアしたもののだけが入学を許されるのが高校です。言葉の重みを感じます。

「受験生だから」を言い訳にしないこと。行事にも全力で取り組み充実した9か月にする。なにより家族の一員としての役割を果たすこと。

子どもたちにはいよいよ始まるという緊張感がありました。(※写真は芦北高校と水俣高校)



## 【秘密の部屋】3日の児童・生徒引き渡しは急な連絡にもかかわらず、大変お世話になりました。

### 【部活動の思い出】010621

明日から郡市総体が始まります。私は大野中に敗れて最後の大会を終えました。完成して間もない、佐敷中体育館が会場。敗戦後に涙を流したのが教室棟から体育館に向かう通路の横のスペース。佐敷中勤務の2年間は、通るたびに「はああ。」となっていました。

中学時代は、同級生のKくん（今は八代高校の先生）の転出先、八代五中とよく練習試合をしていました。下級生は6個入りのボールバッグを持って、肥後田浦駅から鹿児島本線に乗り、高田駅からは徒歩で移動。「行きに疲れて、試合で疲れて、帰りに疲れる。」が当たり前でした。保護者やスクールバスの送迎にはたいぎゃ感謝せんとばちかぶっですよ。

佐敷中に練習試合に行ったときは、帰りに「勝屋」さんに寄ってくるのが楽しみでした。列車、バスの時刻に間に合わず、友達のHくんと歩いて帰ったことがありました。バカな思い付きを実行するのが中学生です。佐敷トンネルの長さや暗さ、スピードを出して通過するトラックの恐怖と言ったら。中学生時代、最も後悔したことの一つです。結局、トンネルを抜けた後、海浦からバスに乗りました。

郡市総体前は、水俣工業高校とも練習試合をしました。試合の帰りにOBのFさんに水光社に連れて行ってもらい、「釜揚げうどん」をごちそうになりました。

顧問のO先生は、バレーボール経験はありませんでしたが、練習ではよくサーブを打ってもらいました。作戦タイムの「確率では…」数学の先生らしいアドバイスでした。

練習や試合以外のことを含めて部活動生活ですね。(H)

### 【縁】010630

夏の甲子園大会熊本県予選1回戦で、水俣高校と八代高校が対戦することになりました。両校に田浦中出身の野球部員が在籍しています。その話をする中で、次男から「職場の上司が、熊工が夏の甲子園大会で準優勝した時のピッチャーだった。すごいよね。」という話を聞きました。

私も「震災の時に熊本市内の学校から田浦中に一時転入していたMくんも、お父さんがその時の選手だったと言ってたよ。」という話をしました。

話をつないでいくと息子の上司は、まさかのMくんのお父さんでした。Mくんのおばあちゃんは、私が保育園児の時のK先生。選択と偶然が交じり合って、人と人はどんな縁でつながっているか分かりません。これも縁、あれも縁、たぶん縁、きっと縁です。(H)

### 【みんなちがって、みんないい】010705

教育目標の「潤い」と「輝き」をあふれさせるには、硬く言うと「人権を大切にできる心」。柔らかく言うと「自分を大切にできるように、人も大切にできる心」、「人の良さに気づき、素直に認めることができる心」をもつことが第一だと考えています。

ヒトの遺伝子の情報は印刷して本にすると26万2000ページほどになるそうですが、一人一人違うのは500ページほど。99.9%は同じだそうです。「違い」はそれぞれの「個性」に当たる部分、0.1%の「違い」を取り除くと、田浦中生、先生方全員が全く同じ姿かたち、考え、行動になってしまいます。

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、  
とべる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

「わたしと小鳥とすずと（金子みすゞ）」

潤いと輝きも、はじめは「みんなちがって、みんないい」です。(H)